

大阪府立布施北高等学校学校運営協議会議事録

校名	大阪府立布施北高等学校
校長名	村田 知子

開催日時	令和4年11月18日(金) 13:30~16:00
開催場所	大阪府立布施北高等学校 展開1教室、(授業見学 各教室)
出席者(委員)	中西 進泰(会長)、菊地 栄治(委員)、塚本 佳秀(委員)、 浅岡 美和(委員)、西村 芳世(委員)
出席者(学校)	校長、教頭2名、事務長、首席2名、教諭1名、実習教員1名
協議資料	・スクール・ミッション(案) …… 等

議題等(次第順)
○ 授業見学について ○ スクール・ミッションについて
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>○ 授業見学について</p> <p>《委員より》</p> <p>【授業内容：大人と子どもの違いについて考える授業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人と子どもの違いについて、自分の生活に引き寄せながら考えている。教科とは違い、自分の人生について考える授業だった。 ・目標が見えていい。昔は教科ばかりだった。大人はどう考えるかを1年次から考える授業で今の生徒がうらやましい。発言もしっかりできていた。先生方にも、もっと自信を持って頑張っていたideきたい。 ・授業に関することで、生徒が声を出している。「大人ってどうだ」ということは、ともすればステレオタイプになってしまうが、それに対して生徒がつっこんで話が出てくる。先生方は、生徒の声をさらに授業につなげてほしい。 ・「知らない人に声をかけられたら大人だったらどう返す」というテーマのロールプレイが面白かった。板書の文字も見やすかった。 <p>○ スクール・ミッションについて</p> <p>《学校より》</p> <p>「スクール・ミッション」の内容、案の策定までの流れの説明</p> <p>《委員より》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い期間の中ではあるが、良いものができればと思う。 ・100点満点のものと思うが、既に実施していること、既に続けていることだから書けるものかと思う。学校経営計画の言葉の方がわかりやすく、ワクワクするのではないか。 ・「これまで」布施北が大事にしていたことを深めて、「これから」もワクワクすることができればと思う。子どもがどれだけ興味を持って学んでいけるかが重要、興味を持った子どもたちから自ずと地域と関わり始める。今日の授業では、生き生きと子どもが発表するような授業が出来ていたと思う。 ・外国にルーツのある生徒が増えてきている。人権教育についても、幼少期からの学校教育の大切さの話があった。「人権」「多文化」いいことだと思う。学ぶことに「誠実」という言葉は校歌にもある。「厳しくも丁寧に」寄り添った教育が布施北の伝統。卒業生もいい学校と言っている。 ・先生方で作っていいこうというのが良い。他校は「めざす学校像」をそのまま書くというところもある。「これまで」も「これから」も、地域の思いも入っていて、私たちもときめく。ただ、先生方で何とかしようという思いが強すぎる。子ども主体という視点が、知らず知らずのうちに子ども扱いとなっている。今の若い人はリーダーを作らない。それは個人々々を大切にしているということ。生徒目線、生徒を対等に見る人権が卒業生も良かったという思いにつながる。結論として、強いところ、固有の役割を出していかないと。「めざす学校像」を打ち出していければと思う。
※次ページ続きあり

《学校より》

- ・作るにあたって、「めざす学校像」を参考にしてとは伝えて教員に意見を募っている。「めざす学校像」と言葉が違うのは、中学生に伝わるようにと作っているから。「めざす学校像」は大人が見る文章。ある企業の理念に『すべては、お客様の「うまい！」のために。』とある。その企業の様々な部門が何かするときの指針になる言葉。スクール・ミッション案の『ウ』にあたる部分で、学校の行動の指針となる部分。独自性や具体的な部分は来年度作成するスクール・ポリシーに入れたい。

《委員より》

- ・府立学校の統廃合で廃校になる学校がある。布施北は残ってほしい。地域の受け皿としての役割を担ってきた強みを、地域の会社の方々が応援してくれているという強みを武器にしてほしい。
- ・デュアルの10年後を見据えて、強く訴え掛けるような、もう一工夫をしてほしい。
- ・「めざす学校像」の『生徒一人ひとりが「入って良かった」と思える学校』は良いと思う。
- ・優しい言葉遣いは良いが、たくさん（他校のスクール・ミッションと）並んだときに目に止まるかなと思う。

《学校より》

- ・中学生の目線に立ったとき、「地域連携」や「デュアル」がどれだけ強みになるかは疑問がある。中学校訪問で聞く限りは、生徒が布施北を選ぶのも「エンパワ」だから、進路の先生が進めるのも「エンパワ」の面。

《委員より》

- ・もっと、大人の目線を入れてほしい。
- ・中学生が高校を選ぶ際は、どのような力がつくかが大切。今の生徒は自信や自尊心が低い。布施北に行ったら、自信がつく、個性が引き出される、そういうのが含まれていたらいいと思う。

《学校より》

- ・エンパワ入学時のアンケートで、入学時に「自分が好き」との答えは20%ほど。卒業時は増えるので、確かに強み。
- ・スクール・ミッションに関して、「10年耐えうるもの」の解釈がポイントになるが、10年後の学校像を描くものではなく、「今」学校として大切にしているものであり、10年前からでも、10年後も変わらぬものを書くものと思う。スクール・ポリシーに具体的な言葉を取り入れていきたい。
- ・チャレンジングなことより、「今」評価いただけていることを大切にしていくことにフォーカスを当てて作った。

《委員より》

- ・良いものが出来るように意見を言っていることは理解してほしい。

《学校より》【今後の予定】

次回の会議日程	
日 時	令和5年2月予定
会 場	大阪府立布施北高等学校